



## かね お金はいつごろできたの

### しなもの ぶっぴんかへい さいしょ かへい 品物をかたどった「物品貨幣」が最初の貨幣

おおむかし しなもの しなもの こうかん しゃかい ひとびと  
大昔は、品物と品物を交換していました。その社会で人々がほしがるものが、やりとり  
されていたのです。いし かい うし ひつじ めの ぶき ぶっぴんかへい  
石、貝、牛、羊、布、武器などです。これらは、物品貨幣とよばれて  
いました。いわばお金の代わりにになった品物です。でも、それらの品物は、持ち運びがた  
いへんでした。

そこで、きげんぜん せいき こだい ちゅうごく しなもの かへい  
紀元前5～7世紀の古代の中国では、その品物をかたどって貨幣にしたものを  
つか 使いました。たとえば、ふへい ぎょへい どうへい ぶっぴんかへい  
布幣、魚幣、刀幣などで、かつて物品貨幣といわれたものです。  
にし きげんぜん せいき きんか ぎんか つく せかい  
西アジアでは、紀元前6～7世紀ごろ金貨や銀貨が作られました。おそらく、これが世界  
さいこ せいしき かへい  
最古の正式な貨幣でしょう。

### わどうかいちん きんきちほう りゅうつう 「和銅開珎」が近畿地方で流通した

にほん せいき はじ きん ぎん どうか りゅうつう せいしき かへい  
日本では、5世紀の初めに、金・銀・銅貨が流通していたといわれますが、正式の貨幣  
つく 作られたのは、708年の「和銅開珎」という銅貨です。そのころは、なら みやこ いちば  
奈良の都も市場  
おお しょうひん ばいばい いち わどうかいちん ぜに つか  
が多くなり、商品の売買もさかんでした。市では、和銅開珎などの銭も使われましたが、  
かへい ちほう ひろ ぶつぶつこうかん おな  
貨幣は、まだ地方には広がらず、物々交換が行われていました。

へいあんじだい なか ねん あだ しゅるい かへい つく へいあんじだい  
平安時代の中ごろまでの250年の間に、12種類の貨幣が作られました。平安時代の  
お にほん ちゅうごく そう ほうえき ちゅうごく そうせん にほん りゅうつう  
終わりからは日本と中国の宋との貿易がさかんになり、中国の宋銭が日本で流通するよう  
になりました。（監修・保岡 孝之）

